



西前小だより

横浜市立西前小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/nishimae/>



子どもたちがつくる学びの過程の大切さ

校長 芳賀 敏

学校周辺のツツジが一斉に咲き、学校に彩を添えています。子どもたちはOSF(大空スポーツフェスティバル)に向けた活動にも取り組んでいます。このたよりがお手元に届くころには、OSFが開催されていると思います。日々の子どもたちの健康管理やPTAとして運動会のサポートをしていただいた保護者の皆様、校庭での運動会練習の放送などにご理解をいただいていた近隣の皆様、子どもたちを応援していただいた地域の皆様に感謝申し上げます。

OSFは、学校目標「自律」「対話」「創造」を達成するために次のようなねらいで行っています。

○児童の主体的な活動を重視し、集団への所属感、連帯感を深め、積極的に参加する意欲をもつことができるようにする。(自律)

○同学年や他学年の友達とふれあうことで、豊かな心を育てる。(対話)

○自分の活動や方法を選択し、決定する活動を通して、自分らしさを伸ばしていけるようにする。(創造)

本校の取組の柱のひとつである「たてわり」「ペア学年」による異学年での活動がOSFの土台になっています。たてわり活動におけるOSFは「集団活動のはじめとして、みんなで取り組むよさを味わうための活動」として職員の共通理解のもと実施しています。6年生は、活動を通してグループの子に声をかけたり、指示を出したりするなど、役割を分担して実践することで、自分たちの活動が学校をより良くすることにつながっていることを体感し、自己有用感を高め成長することができます。

演技の練習では1・2年、3・4年、5・6年の学び合いを大切にしながら進めてきました。また、先日のOSFカウントダウン集会や応援練習では、たてわりグループでの活動を通して、OSFへの意欲を高めていました。子どもたちが主に進行・運営を行い、たてわりリーダーが自分たちのグループへ意気込みを伝えたり、3色のグループごとに考えた応援の仕方を応援団長が伝え練習したりすることができました。どの活動でも自分たちが今できる精一杯の声や動きで伝えている姿があり素晴らしく見えました。1つの行事を通して、自分たちが決めた目標に向けて頑張る「自律」への姿、異学年を通じた活動で相手のことを考えながら教え、伝え合う「対話」をする姿、OSFを楽しむために自分たちで知恵を出し合っ

て応援を考えたり、掲示物などを作成したりする「創造」する姿がありました。

また、活動したことやそこから学べたことなどを振り返ることも大切に行っています。「西ToBeみらいノート」などを活用して一人ひとりの努力や成長したことを蓄積しながら、学んだことやそこから得た課題を他の活動でも生かしていくようにしています。OSFは終了しましたが、この学びは次のチャレンジへの力となり成長へとつながります。それぞれ得意、不得意なこともあります。みんなが同じことを努力するのではなく、それぞれの実情に合わせて努力をしていくことが大切と考えています。それぞれの実情を理解しながら集団の活動も高めていく。相手を思いやりながら行動していく相手意識も育てながら日々の教育活動を進めてまいります。